明治四十三年三月九日 第三百五千三號（氷曜日）

（日刊）月曜發行日の翌日休刊

明治四十年十二月三十日第三種郵便物認可

京城新報

本紙 一枚金二錢▲一ヶ月前金壱圓五拾錢▲三ヶ月前金壱圓▲六ヶ月前金貳圓▲郵税一ヶ月十三錢 月曜日及び大祭日の翌日は休刊（日刊）

廣告 一▲五號活字十七字詰一行一回金壱拾錢▲懸賞特別廣告五號活字十七字詰一行金七十五錢

明治四十三年 紀元二千五百七十年

發行兼編輯人 高木久馬太郎

印刷人 松久神一郎

京城西署管内小門通（電話六六三）

發行所 京城新報社

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐ可からず

京城居留民團公文

京城居留民團告示第一號

京城居留民團令第一條ニ依リ明治三十七年四月一日ヨリ明治三十六年度ニ出產シタル兒童ハ學齡ニ達スルモノヲ始期ニ達スヘキ年ニ付該兒童ノ保護者ハ三月二十日迄ニ入學願ヲ居留民團事務所ニ提出スヘシ

明治四十三年二月十九日

京城居留民團民長 古城管堂

雜報

在外公債の下落

銀價下落と政治上の影響

内債整理發行の好影響を受けて連日上向き一方なりし在外公債は二十八日の倫敦市場に於て舊四分利は四分の一下りの九十五磅四分の一に新四分利は十六分の五下りの九十五磅四分の三に第一四分半は八分の一下りの九十九磅四分の一に第二四分半は十六分の一下りの九十九磅十六分の七に五分利は六志二基下りの百五磅十三片二志に軍事は七志二片下りの百四磅六志二片に夫々下落したり右は從來在外公債が久しく騰上に上騰し來りたるを以て時に反動の頗はれんことを保し難かりしと雖も其反動たる何等の動機なくして起り得べき次第のものならざるに恰かも印度政府が銀の輸入稅率を一オンスに付き四片に引上げ從來に比し約三倍の增率を爲す事となりたる爲め昨年二十四片臺なりし銀價が二十五日には二十三片十六分の七となり二十六日には二十三片八分の三となり二十八日には更に十六分の一下落して二十三片十六分の五となりたる結果東洋諸國の貿易關係に惡影響を及ぼすべしとの懸念を生じ偶々我公債の下落を來すべき動機を造りたるものなるべく加るに英國總理大臣が陛下に謁見したる後内閣會議を開きたるに就ては再び國會の解散を爲すべしとの政治上危懼の念も多少財界に起りたる爲め各種の公債が連じて下落するに至りしならんかと云ふ

●缺通追徵と個人損害

韓國政府は缺通者を調査して發見したるに從ひ嚴重に追徵しつゝあることは既報したるが政府が追徵をなすに當り個人の損害は毫も顧みざるが故に理事廳又は郡守の證明を得て完全に土地又は家屋に抵當權を有する者と雖も若し債務者が缺通者なるときは政府は其抵當物件を公賣處分して缺通金を先取するを以て債人の抵當權は遂に空權に歸し其爲め慣害を蒙る者頗る多しと云ふ

地方通信

▲裁判所新築工事 平壤停車場附近元離宮構内に於る平壤控訴院及び地區裁判所新築工事は昨年八月八日其の敷地内なる元離宮一部の建物取崩しを開始し九月一日より本工事に着手し昨年中に基礎工事の八九分通りまで進行したるも其後結氷期に入りたる爲め總ての土工事は今日まで之を休止し目下專ら石工及び軸部その他造作の木工々事中にて本月中旬以後再び基礎工事に着手し五月始め頃上棟式を行ひ七月十五日頃までに全部竣工せしむる豫定の由なるが新築工事は度支部建築所にて之が設計及び工事の監督をなし同所の出張員なる西川技手專ら其の衝に當り居れり今その設計の概要を聞くに國舍の建坪は二階家百十七坪餘平家百九十七坪、附屬家十八坪、渡り廊下及び便所五坪外に二十五坪づゝの中庭二箇を設け構造は木造にして内部は漆喰塗に外部はセメント漆喰塗り二階家及び平家の屋根は瓦葺きとし附屬家渡り廊下及び便所は亞鉛引鐵板となす筈なり而して右に要する建築材料煉瓦及び金屬材料は總て官給にして木材は營林廠の鴨綠江材を用ひ煉瓦は度支部所管麻浦煉瓦製造所製造のものを用ひ石材並びに瓦は本工事の請負人なる京城の名草某一切これを出し國に於て其の請負金額は總てに於て二萬六千四百五十圓

▲柳澤判事送別會 平壤控訴院部長より這たび海州地方裁判所長に榮轉したる柳澤判事の送別會は豫定の通り五日午後七時より笑陽倶樂部にれいて開會され六十名の會衆を代表して氏野檢事の送別辭に次ぎ柳澤氏の答辭あり盛會なりと云ふ

▲韓人巡査採用試驗 平安南道警察部に於ては五日韓人巡査十五名の採用試驗を執行したるところ之れに對して應募者二百名といへる多數に達したりと

▲民團會計事務受拿 居留民團法施行規則第十條第二項より會計役を置かざる居留民團にありては民團の會計事務は當該理事官の定むる所により民長、助役、又は書記に於いて之を受拿すべき規定なるが當平壤居留民團にては先づ民會の決議を以て會計役を置かざることとなり理事官の認可を經たるを以て當民團役所書記慣田虎之助氏は理事官の指令により會計事務受拿を昨日附命せられたり

▲財務官吏の異動 平壤財務監督局及び管内財務署に於いて韓人財務官及び主事に異動あり元慶山署長趙任榮氏は龍岩浦署長に德川同金東恒氏は延安署長に平壤財務官流邊時鵬氏は定州署長に夫々任命せられ其他主事に於いて日本人新任四名韓人十名ありたりと云ふ

○新刊紹介

▲婦女界（第一號再版） 第一號出版なり日ならずして賣切を呈したので讀者の希望に依り再版を見るに至れり）

▲東洋時報（第三十七號） 本誌は滿州經濟事情を以て特色となし居りしも本號より其に西比利亞方面にまで廣となすに至れり（東京麴町內山下町東洋協會）

▲實業の世界（第五號） 石山氏の石炭燃燒、醇して煤烟の上らざる機關發明は國家及び自家經濟上見逃し能はざる好事なり（東京芝三田町實業之世界社）

▲婦人世界（第三號） 本誌は專ら家庭の讀料とし尊刊されるものに下は弦雪居士の家庭料理及び侍醫加藤博士の小兒病生法より最も必要たるべし（東京市橋區南紺屋町實業之日本社發行）

▲探檢世界（第五號） いつもながら本誌は奇想天外小心者として胸と寒らしむ意出でゝ意快 東京本郷弓町成功社）

▲新公論（第三號） 本號には現今代議士、性格機略振り等余す處なく記載し（東京本郷鬼子町十一新公論社）

▲成功（第一號） 大隈伯の青年的元氣持續法は現今青年の必ず一讀すべき價値あり尚石川半山の政界二人男桂西園寺兩侯の人物觀は先づ逸話なりん（東市本郷弓町成功雜誌社）

▲韓國經濟月報（十二號） 度支部發行

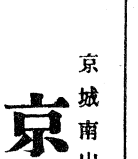
日本銘刀傳

第六十二席 邑井一講演

祐「此りや氣を確かに持て」兩人「祐廣殿〳〵〳〵」其のうちに宿屋の者も泊の者も總起きて、只今奥の一室へ曲者が忍込んで、客人を殺したと云ふ騷ぎ、此方は貫ぬかれましたと云ふ騷ぎ、祐「誰〳〵」見給へ、慌てたから突き通しばなしにして逃げた、無名でありけれど、確かに相州者、殊に大道坊佐藤が打つたものに違ひない、當人が已れ長義つと云ふ聲とかけたは確かに次の室で國廣と廣光も聞いで居たらう、何しろ此りや京都へ上らうと

居るので折角出世の爲めに、京都へれ上りになるのだから、京都のれ首尾上々にして、に帰りになられますやうに私も共にれ祈り申す、れ死骸は悉く弔らびませうから 祐「夫れではれ其樂甘へ御願ひ申す、何うか宜しうれ頼み申す、そこで此の庄兵衛の菩提寺でございまする、眞乘寺と云ふのへ埋葬でございます、眞乘寺と云ふのへ埋葬で呉れました、髑死だなんと云ふと、却つて可けないから病氣で死したる積りで、殘念ではあるけれど、七日の間佛寄り申すから」と新藤吾國廣、九郎次郎廣光の兩人を連れて 祐「道中誠に油断は出來ない、眞に私は殺害しかつた夫れが却つて幸はひ我が生命が助かつたが、後日に直さうと云ふ祐廣を失つてしまつた然れども彼の生命を捨てしまつたのは、我が生命の恩人だ、此の上は京都へ上つて、首尾よく御需鍛冶になつた後は、長義と分つた以上は、彼を打つて祐廣の無念を晴してやりたい」國廣、廣光も 兩人「尤も至極でございます」とそこで祐實京都へ來て此度れ掛の萬里小路大納言樣へ届けをする、夫れ〳〵宿所を下しかれる、諸國から皆京都へ上つて刀鍛冶が皆宿所を場はつて居る、其の時祐實は字治大納言殿の御家老上田庄可正吉の許へ彫り出云ふ途中、此の椿事出來如來にも殘念顯なことをした」と祐實は落膽して居る然れども新藤吾國廣、九郎次郎廣光の兩人が兩人マア〳〵斯くなつた以上は最早や歎いた所が致しかたがない」と言はれそこで宿屋の主人が誠に親切にも主「私が是れは引受と致しませうす、私は以前此の村の名主で市場庄兵衛と云ふものでございます、旅人が下り上りに困難を致しますから、ろこで宿引屋といふ屋號で宿屋を初めました、追々客人が殖ゑまして、斯うして祐「鎌倉より上京の藤原祐實」と申し入れて、例の劍に刀を造上致し出名國八元春殿より致しての御依頼書を出した、庄司祐實に遇つて 正「尊面の越むき確かに承知した、左大臣樣に申し上げし、此度大内の首尾は取計らつて遣はすぞ 祐「誠に有がたい仕合せ 庄「就ては是れには見ないが、祐廣と云ふものは如何致した」言はれて祐實は頭を垂れて ホロ〳〵と涙を流した 庄「祐廣上京致してござるが、此の書面の越さで祐廣の師の祐實を、是非とも御需鍛冶に拵げられるやう取計らつて呉れ給へとある、祐廣は富山次郎景近の一子吾傳は、以前富山次郎とは兄弟分とは言はんが、兄弟同樣に交はりとした、殊に彼れ稻村ケ崎に於て、討死を致したる其の時に、軍目付の申し立ての悪しかりしより、彼れが家闕處仰せ付けられた、誠に氣の毒に思ふ其の一子太郎其の機如何致したことであらうと、京都へ上つて從はる樂じ居つた、此度其の方の供致して參つたる由なれば、本來此の品々を持つて祐廣が出べき筈だ 祐「エヘエヘ其のことに就きましては、祐實申上げます、實は市場の宿に泊ました時に、曲者忍入つて祐廣を實殺しまして、尤も我が身代りに立つて呉れたるも、同樣でございます、實いたる奴は判然分りませんが大達坊佐藤の甥長義のように心得て居ります 庄「憎むべき奴、委細心得た、右やうな輩であらば、嘸かし祐廣も浮ばれまい、此のことは此の方一身に換へても、其許の腕と言ひ御需鍛冶に相成るやう、取計らうであらう 祐「何分宜しく願ひます」

廣告



電話一一八二番
やち多

小倉至急入用 讀者 但京龍間に確實の保證人ある者に限る 明治四十五

秩父屋 關根出張所 町一丁目 電話四三一番

大槻商行質部 京城鐘路町 金高の多寡に拘はらず十二分の御便利を圖り迅速御相談に應ず質物は可嘱取扱極めて安全に一定の場所に保管す

南大門通三丁目 佐藤皮膚病院 電話一一七三番 支那領事館前通 京城郵便局後 院主佐藤藤伊

生儀多年福岡醫科大學皮膚科教室（皮膚病梅毒泌尿生殖器）科教室奉職處今般辭職左の處に開業專皮膚病（黴毒癩病膀胱病生殖器婦人の）診療從事 診療（午前自八時午前二時 午後自五時九時）入院隨意 電話一一七三番 南大門通三丁目 佐藤皮膚病院 支那領事館前通 京城郵便局後 院主佐藤藤伊

京城南山町（元日本人倶樂部）

京城ホテル 長電話一二三番 電話四九二番

大和町三丁目 梅の家眞向ひ

明月 電話七三五

◎移轉 太平町二 大鎮門前角 元パラスホテル跡

盧澤商會京城支店 ◎洋家具裝飾品 專門 電話二二五

御料理席貸 和樂園 高田家 米倉町（電話九三七番）

○料理は萬事手輕にして高尚○園内は至極閑靜にして別世界○市地高燥にして見晴し京城一○大廣間の設備も有之候間集會又は宴會等に適當に候

櫻餅 草餅 京城本町 貞島寒水堂（電話一四一番）

○洋家具製造 ○御開業 ○御披露 ○大阪美人の御給仕

鯛 松たけめし 一人前三十錢 あなご 竹の子めし たなしく 鶏 ゑんどうめし たなじく

樂はど、よい道樂はどざいなせん、此道樂と道樂なくて七難と申しますから適分色々の道樂もありますが就中めし道樂は出ません、ぜひ御贔屓を願ひます

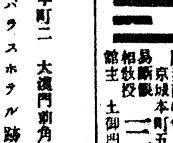
釜のまゝ 御應數の眞中に持運び御嘗好に任せ按排加減を程好くして差上ます何卒御賞味かた〳〵御來遊の程ひとへに願入申ます

尚多少にかゝらず出前も御便利に迅速に届け仕りますから御用命の程御願申上ます

大和町三丁目 梅の家眞向ひ 明月 電話七三五

本人所有の忠清北道忠州郡山尺面梅村に在る森林の放賣方を弟櫻樹に委任せり 明治四十年十一月建植 該森林賣買契約を結びたる組買人朴淳夏氏と其後解約ケ履行せざるに付建植の委任を自買に關する書類を有する人々に向つて一切無効たることを宣言す内外國人に就て照會せよ買受希望者は直接本人に就て照會すること 斯の如し

關正植 告白



シガー、ブドウ酒、ブランテイー、洋菓子、果物カン詰類、シガレット、シヤンピン、ウヰスキー、キリンビール、タンサン　卸小賣　歐米雜貨洋酒食料品　洋煙草類金銀屬美術品　直輸入商　京城本町　二三丁目　辻屋　本店電話二一四八　支店電話三六六

東京電報

▲**東宮侍從の差遣**　皇太子殿下大阪行啓御見合せ御出されたるに依り有馬侍從は御沙汰を奉じて滿鮮地へ直行したり（八日）

▲**東宮殿下の御容体**　本日岡侍醫頭は東宮參殿親拜し皇太子殿下の御容体を拜診申上げたるに風邪の御氣味なるも極めて御輕症なり

▲**伏見宮の御渡英**　日英博覽會總裁大勳位貞愛親王殿下は日英博覽會御參列の爲め御渡英あらせらるゝ事に決定したり（同上）

▲**大浦農相の洋行**　農商務大臣大浦兼武氏は歐米各國へ差遣を命ぜられ來る四月出發すべし（同）

▲**又新會遂に解散**　過日來多數の會員脫會し小川、細野、大竹等少數の進御用議員にて殘餘を守居たるが昨夜遂に解散を決議せり

▲**ブ國移民の中止**　ブラジル國リオジャネロ殖民地開始の爲め我が政府に自由移民の要求ありしが其の後研究の結果該地は不毛の地にして且つ勞働者の健康狀態に不適當なるより之れが渡航は暫く見合せる事となれり（同上）

▲**東拓法愈々改正**　韓報の如く政府は本日東洋拓殖會社法中改正法律案を議會に提出せり（同上）

▲**統監の歸任未定**　曾禰統監は健康爾に復せりとて自ら歸任せんとするの意思あるも觀近者は尚ほ其健康を養ひ居れるを以て歸任期は未定なりとの說あり（同上）

▲**韓儲歸韓の決定**　韓國皇太子は來る八月初旬歸國の事に決定し我　天皇陛下の御裁下あり岩倉宮內大臣、古谷御用掛、久原教育掛隨行せらるべし（同上）

▲**立憲國民綱領**　來る十三日結黨式を擧行すべき立憲國民黨の主義要領は左の如し（同上）

一立憲政治の完備を計る爲には政權を國民的基礎に置かざるべからず然れども一部官僚は擅に政權を壟斷し憲政の名あるも其の實なきを以て其の弊害を打破せざる可らず

一文武の權衡を保つは爲政の要となるを以て苟も偏重偏輕に流るべからず之を從正するは劇下の急なり

一國防は周圍の狀況に鑑み適當の施設を爲さざる可からず特に本中洋に於ける海權は我國發展の運命に關すること大なり

一產業交通の發達は國家隆興の基なるに當政者の施設之れに伴はざるもの多きを以て政費の分配を適當にし以て國力の充實を計り併せて產業の發達を期す

大連電報

▲**兇漢慰安と訓戒**　伊藤公暗殺者安重根と師弟の關係ある韓國黃海道信川居住の宣教師ウイルヘルム即ち洪神父は今日午前十時鐵路旅順に來着せり彼れは滿車中に於て滿洲日々新聞記者に語つて曰く今回來順の目的は安重根に最後の慰安を與ふる爲めなり予は安重根とは多年の知己なるも彼れが今回の兇行に就きては最も遺憾に思ふ一人なり予は面會の上彼に對し詰責すべき三個の理由を有す即ち基督教は如何なる場合に於ても人を殺害する事は絕對に禁止しあるに彼は此の禁を破りて伊藤公を殺害せり之れ彼れを責むる第一點なり次に今回彼の兇行に依り韓國に大なる不利益を與へたる事其第二點なり更に伊藤公は世界の偉人にして韓國の指導啓發の爲め誠實に盡したる大恩人なるに拘らず同公を殺害したる事之れ彼れを責むる第三の理由なりと述べ更に曰く予は斯かる大罪を犯せる彼れに面會するを厭へるも彼れの親族知友の切なる依頼ありたるを以つカトリック教ニユラル僧正の命に依り遙々當地に來れる次第なり而して予は公明正大なる判決を下されたる地方法院の判檢事諸子に深厚なる謝辭を述べ尙ほ安重根に慰安と訓戒を與へたる後成るべく早く歸韓すべき考なりと語れり（八日）

桑港電報

▲**我勞働者の慘死**　日本勞働者九十二名は加奈陀太平洋鐵道雪除け工事に從事中崩雪の爲め悉く慘死したり（八日發）

韓報

▲**韓皇の馬術御覽**　韓皇帝皇后は一昨七日午後二時昌德宮瑛花室に出御堂前の馬場に於て韓國騎兵隊の障害物競走其の他馬術を御覽ありたる後更らに植物園を御巡覽ありたり尙ほ當日陪觀の岡本駐韓軍參謀第十二師團長、各大臣承候官各夫人宮內府勅任官及勅奏任官夫人三百餘名に茶菓を賜はりたり

▲**憲兵隊の大討伐**　昨秋の大討伐の爲め一時鼎息したる韓國暴徒は又もや各地に蜂起するに至れるより拔に再び大討伐を行ふ事に決定し目下憲兵隊長會議の爲め上京中なる神原憲兵隊長は昨日終了次第急遽歸韓の途に就く事になり由にて歸任の上は警察と協力して一大討伐を行ふべし

後藤遞相の來韓

後藤遞信大臣は議會終了後九州地方を視察の上渡韓し觀しく韓鐵經營狀況及び今年度より起工すべき京元、湖南兩線に關する視察を爲し都合にては安奉線を經て滿洲に赴くべしと

光州の疑獄事件

（種苗場の公金費消）

全羅南道光州種苗場の官金費消事件の木浦新報に依りて摘發せらるゝや當事者の狼狽一方ならず秘密塊補に苦心中なりしが今其の眞相を聞くに同種苗場長齋藤積太郎氏が機械傳習所に對する寄附金七百圓及び農具買入金七百圓合計一千四百圓內外を費消したるものゝ由なるが齋藤氏は土地の有志者より七百圓を借入れて農具代の分は全部補塡する事を得たれ共機業傳習所寄附金費消の分は如何とも補塡の運無く己むを得ず同地に在住せし自己の從弟を郷里埼玉縣に急遽歸省せしめ目下金策に付電報を以て顏々照會中なるが如く之れに關し齋藤種苗場長が拘引せられたるの風說頻りなるも關口檢事正の言明によれば去る四日迄は然る事實なきも檢事局の取調べを受けたるは事實なり而して同氏が何が故に斯かる不始末をなしたるかと云ふに其眞因には女の惜めるあり即ち齋藤氏が元一力亭の女イトなる樓妓に耽溺したる結果今日に及べる次第なりと云ふ之れに次で同觀察府內にも同樣官金費消事件起らんと風說するものあるも此は先般會計檢査員の著光に際し當局者が三日間の期限を以て農銀より金二百圓を借入れたることあるより今回の種苗場事件の暴露に伴ひ種々の臆測を傳へられたるものならんとも云ひ更らに同地監獄部內に金澤派、久留米派の二黨派を樹て互に排擠を事とし紛擾紀綱常に絕ねずと云ひ居牛場問題に就きては村上警察部長の處置其の當を得ずとて去月十七日同地日本人會にては總本部の不信任を決議し松本理事官に上申すべき筈なりしが或る調停者現はれ一度沙汰止みとなりしも本月入り又蒸返し四日來有志者間に於て種々疑惑の結果五日日本人新聞社長員會を開き席上再び村上警視の不信任を決議し理事官に會見申する處あらんと云ひ又更らに駐在軍隊五十嵐大隊が暴徒討伐に對し一大失態あり目下軍隊內部に於て秘密に處分進行中なりと云ひ城壁取壞し工事に關して某官僚派の有力者は該石材を他へ運び出しつゝあるも官憲なるの故を以て取調べを爲さゝるなりと傳へ一輪して光州新報社長にして商業組合長なる片岡議氏の公官費消の嫌疑にて警察署廳の公官費消の嫌疑にて警察署廳に於ける一大事件始末は殆んど紛亂の極にあり

官私學校の消長

私立學校の現勢に就き學部當局者の談話に曰く學部當局者は學校の設置に關する法律に就き其網領大体に於ては大概の成案を有すれども成文として發表する迄には尙ほ此上各部の協賛を要せざるべからざるが是等諸般の手續を終了する迄には少くも一月乃至二箇月の日時を要すべければ實際の調査着手迄には早も今後三箇月の先ならん尙調査方法の如きも未だ主任者の誰なるやを明せざる今日一向未明の理に有と

●**酒稅輕減運動不穩**

數八百餘校あるが彼等も治外法權の下に立てると口實に學令の束縛を受くるを拒ひの韓國開發上不利益なりと自覺し且つ設立の目的と相違はざればとて近來は進ひで學部の指揮監督を甘受するに到れり云々

●**安州市場遂に開店**

一月十九日安州財務署員の嫌疑として過般開警察署に十七名を引致したる以來各商民は彼等に同情を表する爲とし閉店中なりし旨は既報せし處なるが去る三日に至り各店悉く開店したりと

●**咸南の養蠶傳習所**

咸鏡南道の地方費事業たる養蠶傳習所は國庫より五百圓の補助を仰ぎ近々咸興に新設の由なるが追つては同地に實業學校をも設置する事となるべしと

●**咸北警察署長會議**

來る十八日より五日間咸鏡北道に於て同管內警察署長會議を開催する筈

●**次官事務打合會**

八日午前十一時より統監府に於て次官會議の例會あり石塚長官の外、小宮、荒井、倭、鍋井國分、小幡の各參與官、岡本通信技師岡懸道管理局參事等參會せりと

●**內部法令審査會**

來る十二日より內部に於て法令審査會を開らゝ由なり

●**俱樂部改良評議**

仁川俱樂部改良評議員會開催に關し八日午後五時より評議員會開催

龍山民團の開會

龍山民會は一昨七日午後二時十五分民團役所樓上に於て開會出席議員十三名第一號議案道路新開工事の件は元町三丁目より龍山橋に通ずる老松町の道路二十余間を開鑿せんとするものにして其の街角に當る韓人家屋買收費と工事費を合せて壹萬壹千圓なるが本案は編なくも大議論なく惹起したり甲者は該街路は龍山橋を經て停車場前に通ずる謂はゆる新舊南市街の連絡路なるを以て龍山に於ける最も緊要なる道路の一なれば速かに同案を可決すべしと論じ乙者は擴張なる道路の改修は可し然れども目下光州一帶の情況は殆んど內亂表ざるゝ迄に至りしが いよ〳〵調査開始期等に就きては今後是に要する諸法律に就き其網領大体に於ては大概の成案を有すれども成文として發表する迄には尙ほ此上各部の協賛を要せざるべからざるが是等諸般の手續を終了する迄には少くも一月乃至二箇月の日時を要すべければ實際の調査着手迄には早も今後三箇月の先ならん尙調査方法の如きも未だ主任者の誰なるやを明せざる今日一向未明の理に有と

●**酒稅輕減運動不穩**

數八百餘校あるが彼等も治外法權の下に立てると口實に學令の束縛を受くるを拒ひの韓國開發上不利益なりと自覺し且つ設立の目的と相違はざれば遂に一面外四面に在りては酒稅輕減請願の爲め六日多數集合を企てたるも日曜の故を以て殆んど中止の姿となりたるが尙ほ約六十名財務署に押寄せんとしたれば途中に於て警察官之れを說諭して解散せしめ五名の總代を撰ばしめて財務署に運行せり翌七日に至り更に再び大集合を爲さんとするを以て警戒を加へ居るも無事なりと

●**安州市場遂に開店**

一月十九日安州財務署員の嫌疑として過般開警察署に十七名を引致したる以來各商民は彼等に同情を表する爲とし閉店中なりし旨は既報せし處なるが去る三日に至り各店悉く開店したりと

●**咸南の養蠶傳習所**

咸鏡南道の地方費事業たる養蠶傳習所は國庫より五百圓の補助を仰ぎ近々咸興に新設の由なるが追つては同地に實業學校をも設置する事となるべしと

●**咸北警察署長會議**

來る十八日より五日間咸鏡北道に於て同管內警察署長會議を開催する筈

●**次官事務打合會**

八日午前十一時より統監府に於て次官會議の例會あり石塚長官の外、小宮、荒井、倭、鍋井國分、小幡の各參與官、岡本通信技師岡懸道管理局參事等參會せりと

●**內部法令審査會**

來る十二日より內部に於て法令審査會を開らゝ由なり

●**俱樂部改良評議**

仁川俱樂部改良評議員會開催に關し八日午後五時より評議員會開催

龍山民團の開會

龍山民會は一昨七日午後二時十五分民團役所樓上に於て開會出席議員十三名第一號議案道路新開工事の件は元町三丁目より龍山橋に通ずる老松町の道路二十余間を開鑿せんとするものにして其の街角に當る韓人家屋買收費と工事費を合せて壹萬壹千圓なるが本案は編なくも大議論なく惹起したり甲者は該街路は龍山橋を經て停車場前に通ずる謂はゆる新舊南市街の連絡路なるを以て龍山に於ける最も緊要なる道路の一なれば速かに同案を可決すべしと論じ乙者

●**酒稅輕減運動不穩**

數八百餘校あるが彼等も治外法權の下に立てると口實に學令の束縛を受くるを拒ひの韓國開發上不利益なりと自覺し且つ設立の目的と相違はざれば遂に一面外四面に在りては酒稅輕減請願の爲め六日多數集合を企てたるも日曜の故を以て殆んど中止の姿となりたるが尙ほ約六十名財務署に押寄せんとしたれば途中に於て警察官之れを說諭して解散せしめ五名の總代を撰ばしめて財務署に運行せり翌七日に至り更に再び大集合を爲さんとするを以て警戒を加へ居るも無事なりと

●**安州市場遂に開店**

一月十九日安州財務署員の嫌疑として過般開警察署に十七名を引致したる以來各商民は彼等に同情を表する爲とし閉店中なりし旨は既報せし處なるが去る三日に至り各店悉く開店したりと

●**咸南の養蠶傳習所**

咸鏡南道の地方費事業たる養蠶傳習所は國庫より五百圓の補助を仰ぎ近々咸興に新設の由なるが追つては同地に實業學校をも設置する事となるべしと

●**咸北警察署長會議**

來る十八日より五日間咸鏡北道に於て同管內警察署長會議を開催する筈

●**次官事務打合會**

八日午前十一時より統監府に於て次官會議の例會あり石塚長官の外、小宮、荒井、倭、鍋井國分、小幡の各參與官、岡本通信技師岡懸道管理局參事等參會せりと

●**內部法令審査會**

來る十二日より內部に於て法令審査會を開らゝ由なり

●**俱樂部改良評議**

仁川俱樂部改良評議員會開催に關し八日午後五時より評議員會開催

連絡船と郵便物

八日朝釜山に入港すべき關釜連絡船運着の爲め同日夕當地に着すべき內地郵便物は九日夕延着の次第となりたれば從つて市中配達も一晝夜遲延する筈

●**西朝鮮の漁業移民**

東洋拓殖會社の經營に係る西朝鮮の漁業移民は岡十郎氏之れを引受け龍岩浦鳥浦より移民地に撰定し來る三月下旬より事務所及び移民漁業者に供給すべき家屋八十戶の建築に着手する豫定にて目下それ〳〵準備中なるが電話の如きも通信管理局の認許を得て私設電話を架設する筈なりといふ本年同會社の募集に應じ來る漁船は四百五十餘にして漁夫は重に熊本、長崎、大分、福岡佐賀、山口の各縣より來る由

●**仁川紳商協會解散**

仁川紳商協會は組合員韓人七十餘名を有し同地に於ける有力なる團体なりしだけ警察も又多かりしが今回其筋より組織改善に關する注意を受け去る六日一先づ該協會を解散し更らに客主團合事務所と改稱すると同時に組織を全部改良して其筋の認可を得べく今九日右團體書を提出せらるゝ筈なり

●**仁川の火災統計表**

火事は仁川の名物と呼び做さるゝに至りたるも道理四十年來の火災損害統計實に左の如き多數を示せり

年次	出火度數	焼失戶數	損害額
四十年	一〇五八	九七七	七五〇〇
四十一年	一〇六五	一七七	七〇〇〇
四十二年	二七三	一四二	七〇〇〇

本年度は去る二月十、十一の兩日新町及濱町に出火あり焼失戶數六十五損害三十萬圓なりき

●**陸軍紀念日と鐵道**

來る十日は陸軍紀念日に相當するを以て乘客の便を計るため左の如く臨時列車を差し出す由なり

午前南大門發午前十一時五十分

龍山着　同同五十五分

午後龍山發午後五時四十分

南大門着午後五時四十七分

●**高等女學校の移轉**

一時便宜上第二小學校內に設置されたりし同女學校も生徒の增員に伴ひ機舍獨立の必要を生せしに就き同町窩造費を同樣に本年度民團豫算に計上南山町舊小學校敷地內に新築さるべき筈なりと

●**仁川居留民會開會**

仁川居留民會は今九日午後七時開會四十三年度豫算案及商業夜學校擴張其他高等女學校組織改善の件を附議する筈

●**韓人米商會社改稱**

仁川の韓人米商會社は今般其筋の注意に基き今回穀物商團合事務所と改稱し其組織改善に就き調査中なりと云ふ

●**海老名彈正氏來韓**

我國精神界の巨星海老名彈正氏は來月初旬渡韓する筈なりと通報ありしと

●**赤倉書記官出張**

赤倉度支部書記官は廣從灣の天日鹽田增築工事視察の爲め去る六日出張同地に向ひたりと

●**山形分隊長歸期**

江原道地方巡視中の當地憲兵分隊長は十六日歸任の筈

●**帶國領事の入京**

仁川駐劄帶國領事は今日歸任せり

●**大橋鳴托の歸任**

出張中なりし韓國鐵道鳴托員の氏は一昨七日歸任せり

●**米副領事平壤行**

京城領事館在勤米國副領事は八日平壤に向つて出發す

●**寺尾敎篤氏歸壤**

入京中の日英興業會社員の同氏は七日平壤に歸りたり

●**中原孫臣氏歸京**

豫ねて東上中なりし中原孫臣氏は去る六日歸京したり

南韓の農事經營

北尾石川縣農業社長論

目下滯京中なる石川縣農業株式會社專務取締役北尾榮太郎氏は往訪の記者に語りて曰く、抑も本社は石川縣下に於て產業奬勵の目的を以て創立されたるものにて既に十數年を閱したれば縣內に於ける農業は最早遺憾なく發達され居れり、然るに韓半島に於ては比較的沃野を有しながら未だ大發展に經營されたるものなく只從來韓人のなすまゝに委するものゝ如く僅かの資本を以て渡韓したる日本人に依りて經營さるゝの有樣なれば本社は從來大に見る處あり、去る明治四十一年に全羅北道金堤に出張所を設け大農經營を行ふの方針を開きたるなり本社が金堤を選擇したる所以は該地方は東津江の流域なれば農事經營上灌漑の便宜敷きと交通機關も比較的便はゝ順潮の際には和船を以て僅々五時間と以て群山に至るを得るが故に農產物輸出上大なる利益を以て なり、其より水運實收に從事し現在に於ては既に九百餘步餘を耕作するに至れり本社が最初經營に從事するに當り果して有望なるや否やは頗る疑念する處ありしに、この兩年間即ち四十一年度は降雨多く從つて多少の水害を蒙りしが四十二年度は旱魃なりしに拘はらず一段少に對して平均一石一斗の實收穫を見るに至りたり之れに因つて見れば韓人從來の耕作に依つても斯の如き好果を收むるを得るものなれば今後漸時に改良を施せば尙ほ以上の實收を見るに難からず且つ目下改修中なる群山に通ずる道路も六月頃に至らば輸入果して有望なるや否やは頗る疑念する處ありしに、この兩年間即ち四十一年度は降雨多く從つて多少の水害を蒙りしが四十二年度は旱魃なりしに拘はらず一段少に對して平均一石一斗の實收穫を見るに至りたり之れに因つて見れば韓人從來の耕作に依つても斯の如き好果を收むるを得るものなれば今後漸時に改良を施せば尙ほ以上の實收を見るに難からず且つ目下改修中なる群山に通ずる道路も六月頃に至らば輸入

●**酒稅輕減運動不穩**

數八百餘校あるが彼等も治外法權の下に立てると口實に學令の束縛を受くるを拒ひの韓國開發上不利益なりと自覺し且つ設立の目的と相違はざれば遂に一面外四面に在りては酒稅輕減請願の爲め六日多數集合を企てたるも日曜の故を以て殆んど中止の姿となりたるが尙ほ約六十名財務署に押寄せんとしたれば途中に於て警察官之れを說諭して解散せしめ五名の總代を撰ばしめて財務署に運行せり翌七日に至り更に再び大集合を爲さんとするを以て警戒を加へ居るも無事なりと

●**安州市場遂に開店**

一月十九日安州財務署員の嫌疑として過般開警察署に十七名を引致したる以來各商民は彼等に同情を表する爲とし閉店中なりし旨は既報せし處なるが去る三日に至り各店悉く開店したりと

●**咸南の養蠶傳習所**

咸鏡南道の地方費事業たる養蠶傳習所は國庫より五百圓の補助を仰ぎ近々咸興に新設の由なるが追つては同地に實業學校をも設置する事となるべしと

●**咸北警察署長會議**

來る十八日より五日間咸鏡北道に於て同管內警察署長會議を開催する筈

●**次官事務打合會**

八日午前十一時より統監府に於て次官會議の例會あり石塚長官の外、小宮、荒井、倭、鍋井國分、小幡の各參與官、岡本通信技師岡懸道管理局參事等參會せりと

●**內部法令審査會**

來る十二日より內部に於て法令審査會を開らゝ由なり

●**俱樂部改良評議**

仁川俱樂部改良評議員會開催に關し八日午後五時より評議員會開催

治外法權

島田三郎氏談

我國精神界の巨星海老名彈正氏は來月初旬渡韓する筈なりと通報ありしと

●**赤倉書記官出張**

赤倉度支部書記官は廣從灣の天日鹽田增築工事視察の爲め去る六日出張同地に向ひたりと

●**山形分隊長歸期**

江原道地方巡視中の當地憲兵分隊長は十六日歸任の筈

●**帶國領事の入京**

仁川駐劄帶國領事は今日歸任せり

●**大橋鳴托の歸任**

出張中なりし韓國鐵道鳴托員の氏は一昨七日歸任せり

●**米副領事平壤行**

京城領事館在勤米國副領事は八日平壤に向つて出發す

●**寺尾敎篤氏歸壤**

入京中の日英興業會社員の同氏は七日平壤に歸りたり

●**中原孫臣氏歸京**

豫ねて東上中なりし中原孫臣氏は去る六日歸京したり

(第三種郵便物認可) 明治四十三年三月九日 東城新報 (水曜日) 第三百五十三號 (三)

統監府高等官夫人妹の情夫に脅迫らる

京都市上京区西寿若宮町の公卿華族川上男爵の令嬢にみさ子(二五)と云ふあり去る三十年中東都に遊學し始めの程は至極神妙に修業し居たるが一度醫科大學生の齊藤某と情を通ずるや素行漸く紊れ遂には齊藤の良からぬ心より卅七年七月實家川上男爵家に手切金問題を提出せられて不身持の内情露顕はれるや倉々身を持崩し自後數人の情夫と通じて亂行を重ね居たるが其の情夫の一人なる松下豆と呼ふ旧落書生はみさ子の家元の華族なる事を知て前記齊藤の轍を踏んで男爵家へ手切金の餞れを持出せしも實家にては既に娘に愛情の盡き居る折柄とて美事に跳付られたるより今度は見當違ひの當地親戚廣○○官某に縁附き居るみさ子の姉なる○○夫人を頼ねて遂に幾許かの金を爲占し爲めみさ子の醜体は倉々隠蔽して最早骨肉の者も手に余すに至るやみさ子も自暴自棄となり姉御前の縁を持なかち藤者から酌婦遊なり下りし果は醫科十一級の曲者山猫小僧と綽名さるし惡漢と情を結んで今や神田の裏店にて夫婦暮しを成し居る由との事なるが這麼娘や妹を持ちし川上家や○○夫人の心情こそ氣の毒なれ

清國官憲の不埒

▽邦人暴民に苦しめられ

▽清國警吏の拷問に遇ふ

去月十六日清國安東縣附近十九道溝採木公司鴨田公司作業所に於て邦人四名韓人百餘名に暴行を加へられたる上作業所請負業陳廣致外三名の爲めに制縛毆打され遂に長白府監獄に投やられしが幸して放還されたる事實を聞くに櫻井作太郎と云ふもの採木公司運材請負業を爲せしも經驗なき爲め精算期に二百圓の負債を生じ一時證券を差入れ落着したるも尚本年度に於ける運業計畫の爲め鳳山鎮の知人に用錢あり出發せんとしたるを債權者たる韓人は逃走する物と誤解し是を引留め中澤留吉なるもの仲濟せしも聞入れず人三十餘名手に〳〵棍棒を以て遂に櫻井を人質不省になるまで毆打し眞だ事急なるより中澤は同作業所内の日人に應援を求め一時韓人を追拂ひしも韓人はいよ〳〵其數を增し約百名に及び乗寡敵せず兩人は鴨田公司宅に逃込しが組長王張の配下陳廣致等兩人を強て網にて縛し請願巡警事務所に引致したり然るに竹内武三松宮作次郎の二名も同事に仲介したる爲め同横捕縛引致され事務所に於ては陳の指揮により四名を梁下に釣し人事不省に陥らしめたるが折柄組長王張の

▽三升位は飲む云ふ毛虫

悪請負者の退韓

原籍福岡縣糟谷郡箱崎町三千三百十三番地平民當時北米倉町住無職山崎三太郎(三二)と云ふは去る三十八年十一月渡韓し京龍仁間を徘徊し大工職を拵に日夜大酒して建築工事者間を横行し喧嘩口論を吹き掛け强請の脅迫等を事とし工事の妨害をなし地方の安寧を囮害するを以て本月三日附にて向二ヶ年間の退韓處分を命ぜられたりと云ふが今其の罪跡の一部を擧げれば同人は四十年二月龍山鐵道管理局にて材木買入件の際嫌疑者の一人として其の筋に引致せられも證據不充分の爲め放免され四十二年八月には大和町三丁目秋田金次より七百五十圓の建築工事を請負ひ之を旭町一丁目吉澤權次郎に下渡し爲したる處同人は又之を北米倉町の中川なる者に下受けせしめ爲め工事に大障害を來し遂に中川より秋田に增金を請求する等紛擾を極めし同年夏には新町織及其の紐附け環十八金代價合計四十四圓の者何時の間にやら紛失なしたるより其の旨被害者より屆け出で置きたる處本月四日前記大島紬の羽織は榮町角屋つると云ふ質店に十二三歳の小僧龍山座松本長太郎と云ふ名前にて入質し三圓を借り往きたりと分り尚同日紐附の環は同町大塚質店へ同じく龍山座會

下げ笞を以て毆打し人事不省に陥らしめたるが折柄組長王張

▽三升位は飲む云ふ毛虫

悪請負者の退韓

原籍福岡縣糟谷郡箱崎町三千三百十三番地平民當時北米倉町住無職山崎三太郎(三二)と云ふは去る三十八年十一月渡韓し京龍仁間を徘徊し大工職を拵に日夜大酒して建築工事者間を横行し喧嘩口論を吹き掛け强請の脅迫等を事とし工事の妨害をなし地方の安寧を囮害するを以て本月三日附にて向二ヶ年間の退韓處分を命ぜられたりと云ふが今其の罪跡の一部を擧げれば同人は四十年二月龍山鐵道管理局にて材木買入件の際嫌疑者の一人として其の筋に引致せられも證據不充分の爲め放免され四十二年八月には大和町三丁目秋田金次より七百五十圓の建築工事を請負ひ之を旭町一丁目吉澤權次郎に下渡し爲したる處同人は又之を北米倉町の中川なる者に下受けせしめ爲め工事に大障害を來し遂に中川より秋田に增金を請求する等紛擾を極めし同年夏には新町織及其の紐附け環十八金代價合計四十四圓の者何時の間にやら紛失なしたるより其の旨被害者より屆け出で置きたる處本月四日前記大島紬の羽織は榮町角屋つると云ふ質店に十二三歳の小僧龍山座松本長太郎と云ふ名前にて入質し三圓を借り往きたりと分り尚同日紐附の環は同町大塚質店へ同じく龍山座會

省に陷らしめたるが折柄組長王張

▽三升位は飲む云ふ毛虫

悪請負者の退韓

原籍福岡縣糟谷郡箱崎町三千三百十三番地平民當時北米倉町住無職山崎三太郎(三二)と云ふは去る三十八年十一月渡韓し京龍仁間を徘徊し大工職を拵に日夜大酒して建築工事者間を横行し喧嘩口論を吹き掛け强請の脅迫等を事とし工事の妨害をなし地方の安寧を囮害するを以て本月三日附にて向二ヶ年間の退韓處分を命ぜられたりと云ふが今其の罪跡の一部を擧げれば同人は四十年二月龍山鐵道管理局にて材木買入件の際嫌疑者の一人として其の筋に引致せられも證據不充分の爲め放免され四十二年八月には大和町三丁目秋田金次より七百五十圓の建築工事を請負ひ之を旭町一丁目吉澤權次郎に下渡し爲したる處同人は又之を北米倉町の中川なる者に下受けせしめ爲め工事に大障害を來し遂に中川より秋田に增金を請求する等紛擾を極めし同年夏には新町織及其の紐附け環十八金代價合計四十四圓の者何時の間にやら紛失なしたるより其の旨被害者より屆け出で置きたる處本月四日前記大島紬の羽織は榮町角屋つると云ふ質店に十二三歳の小僧龍山座松本長太郎と云ふ名前にて入質し三圓を借り往きたりと分り尚同日紐附の環は同町大塚質店へ同じく龍山座會

制縛毆打され遂に長白府監獄に投やられしが幸して放還されたる事

▽邦人暴民に苦しめられ

▽清國警吏の拷問に遇ふ

去月十六日清國安東縣附近十九道溝採木公司鴨田公司作業所に於て邦人四名韓人百餘名に暴行を加へられたる上作業所請負業陳廣致外三名の爲めに制縛毆打され遂に長白府監獄に投やられしが幸して放還されたる事實を聞くに櫻井作太郎と云ふもの採木公司運材請負業を爲せしも經驗なき爲め精算期に二百圓の負債を生じ一時證券を差入れ落着したるも尚本年度に於ける運業計畫の爲め鳳山鎮の知人に用錢あり出發せんとしたるを債權者たる韓人は逃走する物と誤解し是を引留め中澤留吉なるもの仲濟せしも聞入れず人三十餘名手に〳〵棍棒を以て遂に櫻井を人質不省になるまで毆打

清國官憲の不埒

▽邦人暴民に苦しめられ

▽清國警吏の拷問に遇ふ

去月十六日清國安東縣附近十九道溝採木公司鴨田公司作業所に於て邦人四名韓人百餘名に暴行を加へられたる上作業所請負業陳廣致外三名の爲めに制縛毆打され遂に長白府監獄に投やられしが幸して放還されたる事實を聞くに櫻井作太郎と云ふもの採木公司運材請負業を爲せしも經驗なき爲め精算期に二百圓の負債を生じ一時證券を差入れ落着したるも尚本年度に於ける運業計畫の爲め鳳山鎮の知人に用錢あり出發せんとしたるを債權者たる韓人は逃走する物と誤解し是を引留め中澤留吉なるもの仲濟せしも聞入れず人三十餘名手に〳〵棍棒を以て遂に櫻井を人質不省になるまで毆打

清國官憲の不埒

▽邦人暴民に苦しめられ

▽清國警吏の拷問に遇ふ

去月十六日清國安東縣附近十九道溝採木公司鴨田公司作業所に於て邦人四名韓人百餘名に暴行を加へられたる上作業所請負業陳廣致外三名の爲めに制縛毆打され遂に長白府監獄

人力車にて長谷川町通りを通行の際

支部屋松本米吉に逢ひたるを幸ひ日頃自分は越後所の出入りを差止められ居るを怨みと散々機本を貫の壁や廿八日めたるかと散々機本を貫の壁や廿八日には自分自ら度支部建築所に酒氣ゲ帯びて至り果並主事に談判ありとて面會を怒鳴りしも受付谷川某の弗解にて詮方なく『命ゲ賜けて談判する事あり』と放言して立去り同日午後六時には其の足にて旭町二丁目請負業佐藤熊太郎方に至り同人が婦人病院の工事請負を受取りしを幸ひに同病院は自分宅の前なり其眼の前の工事を人に取られたとあつては自分の面目に關する事なれば之を競爭入札にせよと談判中森安某の來合せて仲裁事濟みたる等殆んど枚擧すれば限りのなき不頼漢なり

人横野清三郎と云ふ者持參

人横野清三郎と云ふ者持參の三圓を借りし事分明したれば其の筋にては右松野に就て尋問なしたる處二三日前十二三才の小供が龍山劇見物中間座にて拾得し居たりと云ふ分の出入りを差止められ

▲無料紹介欄▼

人事部

●領上女中 十五六歳の女子高等官令上女中見習たい傳給寄まゝ 氏名住所(八)

●店員雇入 十四五歳の者希望者求あれ日の出町下山商行(電一〇〇七)

●小供入用 但十五歳以下平壌人用 鶴山元町三 日輝組米店(電三四三)

●教師復職 三十四歳貸物取扱及通譯手續に熟練あり多少英語と解す會社又は官衙を望ひ 氏名住所(一〇)

物件部

●電話譲渡 文は貸付 九例〇帝直接面談に限る 本町四 貴化堂藥店

●貸家 平家一戸建間數四間及長家一戸間數二間場所南大門外吉野町

●売貸家 麻坪十五坪乃至十八坪の家平急買入たし 電話七四番へ

●求貸家 永樂町二三丁目にて貸家を求ひ男一人温突ならば最佳 氏名住所

●婦人用 日韓宋使用紀念婦人用安價譲渡たし 氏名住所(九)

廣告

美術半襟帶締其他紐類各種 京城明治町一丁目 電話一千四百〇九 ふり徳商店

紙と印刷 諸官衙御用 和洋帳簿 諸紙 印刷 各種製本 播本商店 京城本町六丁目 電話百拾番

きゝめのある温泉湯 鐵冷温泉 貸席 京城本町一丁目郵便局前 電話千四百十一番

韓國金屬商元祖 和洋金物商 藤釘本藤次郎店 京城本町五丁目 長電話四五番 電信略號(ク) 振替貯金口座第一三四二二番 新案特許品數種着荷 破天荒の大勉強 舶來品は直輸入 日本製品は産地特約

神戸資生分院 京城梅毒病院 京城和生町(南門湯橋) ◎花柳病專門並 ●入院隨意● 痔(洋射療法) 院長醫學得業士 薗田 (電話一二九四) 平

東京 足袋 本店東京 京城大和町一丁目(日の出橋際) 大和屋 藤井出張店 電話二百〇五番 明治町勸商場内ニモ出張店アリ 正札付大安賣厘毛引 安心して買へ升

韓國銀行 電話(長)一一三 二二三 六六三 一〇一 本店用 (長)一一六 三一三 三〇一 二六二 當直用 來客用 臨時雇傭部 支店出張所 仁川、平壤、元山、大邱、鎮南浦、群山、木浦、馬山、咸興、城津、鏡城、安東縣 替取引先 東京、大阪、横濱、神戸、京都、名古屋、四日市、下關、兵庫、伏見、東京新大阪町、大阪西區松山、釜山、公州、光州、晉州、開城、海州、沙利院、博川、鴨綠、義州、以上韓國、大連、(清國) 當銀行は韓國中央金庫並に日本金庫事務の外普通銀行業務に屬する預金貸金爲替等精々確實親切に取扱申候

諸荒物世帶道具一切 其他和洋蠟燭 アサヒビール サッポロ精白米 右大勉強仕候に付陸續御用命仰付られ度伏奉願上候 日用雜貨 卸問屋 西崎嘉七本店 京城本町六丁目 電話二一〇(ニカ) 振替貯金口座第七番

時節柄數物及夜具等新調仕り室内の設備も相整申候 御客樣に對しては叮寧親切を旨とし調理の義は從來よりも一層勉強可仕候 問倍舊の御引立奉願候 京城南山町四丁目 原金旅館 (電話一一一五番)

瑞西タバン時計會社韓國代理販賣店 米國ウオルタム時計 米國ヂンツリヤ時計 特約販賣店 獨逸國スカンツヤ自轉車特約販賣店 韓國仁川本町三丁目 時計卸商 喜多金光堂本店 電話七五〇番 時計卸小賣 京城本町二丁目 喜多金光堂支店 電話千十五番

概略營業品目 和洋帳簿 文房具學校用品 紙類 卷紙封筒手帳類 帽子洋傘クツ鞄 洋服附屬品一式 メリヤス類一式 毛布膝掛馬車掛 石鹸香水歯磨類 タオル、ハンカチ 手袋雨下袋物類

●京城市内の御注文は遠近に不拘早速持參可仕候●

●地方よりの御注文は代金引換小包にて發送仕候●

正札 一 引なし 官衙、陸軍銀行、會社御用達 京城本町四丁目 池田長兵衛 電話二百〇六番 和洋雜貨卸小賣商

綿わた綿ワタ ふとん地色々、ふとん調進、太物類、洋物類 卸問屋 唐川商店 京城明治町一丁目四ヶ角 電話二六一番

三月三日 雛祭 開業 御披露 電話百二十番 會席 熊山元竹の家跡 東家 御料理

資本金一千萬圓 積立金五百四十萬圓 株式會社第一銀行京城支店 電話一一番 六一一番 銀行一般の業務は確實を旨とし精々御便利に取扱申候 本店 東京市日本橋區兜町 支店及出張所 大坂、京都、横濱、神戸、名古屋、四日市、下關、釜山、都大坂町(東京)、兵庫、伏見、西區(大阪) 其他日本韓國各地並に海外樞要の場所に爲替取引先有之候

改修落成と電話開通 久しく改修中の處彌々落成仕候間不相變御贔負の程願ます 京城旭町二丁目(名古屋旅館へ入る) 侍合醉月 電話二六五番

諸官衙御用品調達 和洋紙類 印刷附屬品 印刷インキ 和洋書籍 防腐デシン 穀物食鹽 諸染料類 營業科目

大 萬 特約販賣 味噌醤油製造元 漬物問屋 京城本町五丁目 大上商店 (電話二一五一番) 自製 和洋酒 醸造酢、穀物類、茶、鑵詰、乾物荒物、食鹽、各種各樣特約販賣 御注文に依り商品切手彌進仕候

委託販賣 藤田合名會社 東京ランバーダ商會代理店 東京中外アスファルト株式會社代理店 東京千代田生命保險相互會社代理店 東京博文館發行書籍特約店 東京金港堂發行書籍特約店 京城合資會社食鹽特約 本社 京城明治町二丁目(電話二三〇番) 出張所 東京十一丁目 京橋新橋 京城電話 京城鎮路の喰物は何んだろー 鐘路軒の松茸めしさ 酒一本 一人前六十錢 外和洋料理五品付 價が安くてうまくて はらこたまるよ 皆さん一度たべてごらんなさい 又和洋料理和洋食共辨當の注文するとすぐ一つでも持つてくる 極く便利です 電話壹四二九番 客用有ます ◎監獄辨當の送入も引受ます◎ 裁判所前の洋食店 鐘路軒

★株式會社百三十銀行 韓國總支店 京城本町二丁目十五番地 電話五十八番 資本金五百萬圓 頭取 安田善三郎 爲替取組先 畿内 大阪、京都、西陣、伏見、奈良、郡山、八木、高田、田原本、貝塚、岸和田、御影、兵庫、鵜月、平野、住吉、茨木、下市 東海道 東京、横濱、大磯、田府、靜岡、名古屋、桑名、松阪、半田、熱田、四日市、津、松、青森、秋田、能代、土崎、高崎、小濱、福井、敦賀、鯖江、金澤、太郎寺、宮津、宮山、伏木、新潟、新發田、豊岡、鳥取 北陸道 米子、境、松江、久手、大田 山陰道 萩、下關、長府、柳井、平生、下關、綾、德山、小郡、長府、柳井、平生、牛窓、味野、岩見、岡山 山陽道 龍野、姫路、西大寺、笠岡、高梁、五島、福山、新府中、尾の道、三原、廣、島、岩國、山口、柳井、平生、下關、綾、德山、小郡、長府、柳井、平生、牛窓、味野、岩見、岡山 南海道 申本、御坊、田邊、新宮、和歌山、尾鷲、州本、撫養、德島、善通寺、丸亀、高松、八幡濱、川之石、宇和島、小治、西條、松山、三津ヶ濱、 西海道 直方、飯塚、博多、福岡、君松、久留米、若津、中津、小倉、門司、行橋、筑藤寺、佐伯、別府、大分、伊萬里、牛津、長崎、佐賀、宮崎、鹿兒島、八幡、長洲、函館、小樽、札幌、 北海道 臺北、嘉南、元山、鎮南浦、平壤、台灣 灣韓國 仁川、釜山、元山、鎮南浦、平壤、木浦、羅州、大邱、群山、安東縣、晉州、海州、馬山、 銀行一般の業務精々御便利に取扱可申候

資本金參百萬圓 積立及繰越金九拾五萬圓 京城南大門通 株式會社十八銀行 京城支店 (電話四二〇) 本店 長崎市桑町 出張所 大阪、熊本 京城、龍山 仁川、木浦 釜山、元山 羅州、群山 佐賀保、鹿屋 浦鹽に爲替取引先あり 他日本、韓國樞要地、及露領 貯蓄預金 一口壹錢以上何程にても御預り申候(利息日歩壹錢二厘) 長崎貯蓄銀行代理店 京城支店 (十八銀行京城支店)